

あなたとともに考える「くにたち」のこれから

市民と市長の対話の会 実施報告書（第4回）

1. テーマ

富士見台地域のまちづくり ほか

2. 日時

令和7年10月30日（木） 午後6時～

3. 場所

市役所 地下食堂跡地

4. 参加者数

8名

5. 内容

市長より挨拶を行った後、「富士見台地域のまちづくり」の報告をした。グループワークを行い、参加者の意見の取りまとめ・共有の後、市民と市長の対話を行った。

6. グループワークで出た意見

（1）富士見台地域の好きなところ

- ダイヤ街の『鳥たけ』です
- 『スーパーさえき』は『矢川』で創業しました
- 気軽に買いもの 図書館、郵便局、市役所等に行けてとても便利です
- さくら通りの緑、団地内のけやきの木等、緑が多く、たたずまいがとてもいいです

す

- 公園があり、子育て・孫育てにとってもよい
- 富士見台団地に住んでいます。住人は多士済々で、豊かなコミュニケーションの機会がある。建て替えに向けて、三者（市、UR、自治会）協議を続けている
- 大きな樹木や草花、緑が多い
- 公園が多い
- 団地 樹木・緑共生
- 団地 緑 たたずまいがよい
- いやされる
- 手軽に買い物
- 公共施設多い
- さえき
- 矢川プラス
- 住民 豊かなコミュニケーション
- 生活しやすい。国立駅、コンビニ、スーパー、ドラッグストア、学校、公共施設、公園、フラット
- 緑が多い（公園・台地…）
- さくら通り（適度な交通量）
- 公共施設が多い

- 生活に必要なもの・店・施設がそろっている。
- 栄えすぎず、自然と調和している。
- 小学生が歩いて登校していてもとても安全である。→子供が歩いて安全に通学できるということは滅多にない
- さくら通りと大学通りを歩くことが好きです。ウォーキングのコースとして夏も冬も最高です
- 公共施設（市役所・学校等）に近く、医者、商店街もあり、住環境に優れている
- 治安が安定しているところ

(2) 富士見台地域の課題

- 高齢化していて、にぎわいがなくなっている。空き店舗がある
- 谷保駅のベンチの改善 雨に濡れる、府中行きバス停にもベンチを
- 南武線踏切（廃止予定2か所） 必ず通れるようにしてほしい
- 団地再生に向けては、単身高齢者の方々の家賃に対する不安が大きい
- さくら通りの環境を守りたい
- 『エコール辻』は、小金井市に移転した。国立市に建物が残っている
- バス通りが狭く歩きにくい
- バスに乗り降りしにくい
- 道路 さくら通り 東西延伸 交通量が増える
- 歩いて楽しめるさくら通りを守っていきたい

- さくら通り 信号のない横断歩道
- 谷保駅北口ベンチ 雨濡れる。府中行きバス停にも
- バス通り 歩道狭い
- 外出 バスの乗り降り大変。高低差少なくなるとよい
- 高架化 踏切通れるように
- エコール辻 なぜ移転したのか
- 単身高齢者 家賃への不安
- にぎわいなくなっている。高齢化
- 空き店舗 谷保駅 ダイヤ街
- 公共施設の老朽化対応 どのように機能再編していくか
- にぎわい
- 緑の確保（団地再生の方向性）
- 交通量の増加
- 自転車道が狭く、すれ違い通行がしづらい
- 富士見台に施設が一極集中している？
- 団地に大型マンションができたが、人口の増加等で心配
- 国立のよいところは幹線道路から閉鎖されていること。それが今後道路の開発で
交通量が増えるのでは
- 国立市の収入を増やす方法として住民税以外に具体的に何があるか

- 自治会活動に参加しにくさがある
- コミュニティバスの利用がしにくいところ（足が弱ると外出しにくくなる）
- （高齢の方が）気軽に外出できる居場所がまだ少ないところ
- 団地の集会室など、地域活動に使える場をより使いやすくしたい

(3) その他

- 国立市の自由なところが好きです。話し合える
- 国立駅の整備計画はびっくり。市のどの地域にも費用を平等に使ってほしい
- 高齢者政策。独居高齢者の実態調査を
- 南武線高架化よりも南部地域のあり方を問う
- 伝統的な緑（都市農業）を増やす
- 田園住居地域を目指す
- 国立市の未来を期待しています
- 国立駅前説明会 費用出てなかった
- 道路 丁寧に話し合ってほしい
- 公園 トイレ洋式化の整備をしてほしい
- 独居高齢者への訪問
- 狭あい道路
- 南武線 まちがもっと開けていく
- 南武線北側の道路 平らで使いやすい。ロータリーには入りにくい

- 矢川通り 歩行者・車いす渡りにくい
- 谷保・矢川駅前の活性化。ロータリーの周り
- 南部地域 田園住居地域を目指せないか。農業・緑を増やしていく
- 農家相続税
- 他からの就農希望
- 各地域（北・南・中…）の「ウリ」の住み分け

（４）富士見台地域をこんなまちにしたい

- 全体的な「まちの姿」を大きく変化させずに
- 緑が多く高齢者も歩くのが気持ちよいまち 生活は今と同じようにエリア内で完結できるとよい
- 活気にあふれ、居心地のよい地域（緑や自然を残し、現状のよい点を残しながら発展し続ける地域）
- 緑の多いまちはベースとして、高齢者の住みやすいまちもベース。ただ、あと 20 年経つと人口配分も変わってきて、今の若い人たちが住み続けたいと思うまちにしたい
- 生きがい、生きる喜びをもって老いることができるまち（健康な人が多いまち）

※グループワークで出た意見について、漢字の表記や句読点など適宜整理しています。

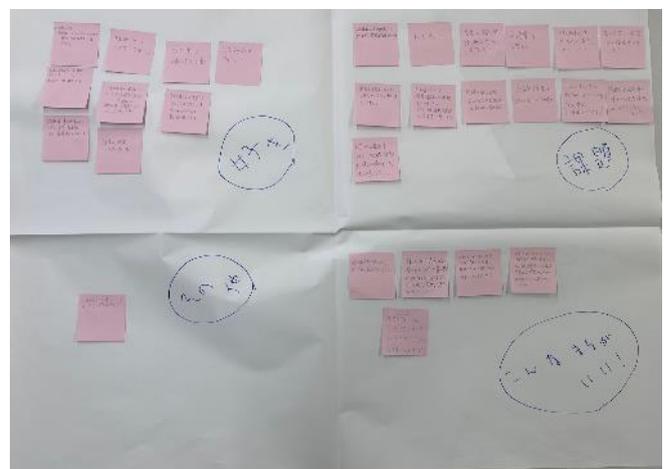
7. 対話の内容（主な意見等）

- 目先のことを考えず、市長には 20 年先を考えてほしい。
- 都心から程よい距離にある。緑を残して発展して行ってほしい。

- 富士見台4丁目もよろしくお願ひしたい。
- 分譲富士見台団地の工事現場では、外国人労働者が多数働いている。団地住民にも外国籍の方がおり、ごみの分別など苦勞をしていると思う。行政としても考えてほしい。
- 富士見台で育ってよかったと思う。富士見台は富士見台のまちづくり、南部地域は南部地域のまちづくりが必要だ。



▲グループワークの様子



▲グループワークの結果